



● 総会実施報告 ●

2024年11月23日にNPO法人化して二期目の総会を無事終わりました。会員の皆様のおかげでなんとか今年も期末を迎えることができました。

事業報告・会計報告についてはウェブサイト（右QRコード

または <https://minnanods.net/mds/finances.html>）をご覧ください。



また、総会のあとに理事の改選がありました。そして新理事会にて、みんなのデータサイトがNPO法人化した第一期から理事長を務めていた大沼章子に代わり阿部浩美が立候補し、新理事長となりました。副理事長は変わらず、村上直行と藤田康元が務めます。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

● 新理事長のご挨拶 ●



今期よりNPO法人みんなのデータサイトの理事長を務めます阿部浩美です。私は2024年4月までNPO法人ふくしま30年プロジェクトに所属し、みんなのデータサイト事務局として関わっていましたが、ふくしま30年プロジェクトの法人解散に伴い、現在はみんなのデータサイト福島ラボで放射能測定と事務局手伝いをしています。私事になりますが、2022年1月に脳出血で倒れ、5カ月ほど入院をしました。

ちょうど退院して、自宅での生活期リハビリに移行したタイミングの2022年6月17日、最高裁判決で福島、群馬、千葉、愛媛で提訴された4件の原発関連裁判について「津波対策が講じられていても事故が発生した可能性が相当ある」として、国の賠償責任はないとする統一判断が示されました。

いま、東京電力福島第一原発事故(以下、第一原発事故)による核災害発災から15年目を迎えようとしています。すでに第一原発事故対応は完了したものというアリバイ作りのように全村・全町避難となっていた自治体の避難が解除されました。強制避難を余儀なくされた放射能汚染の激甚地域が地域再生のスタートラインに立ったと国だけでなく自治体からも喧伝され、社会のなかでも当該事故があたかも終了したこととして位置づけられています。

はたして、第一原発の核災害によって、故郷(資産価値だけではなく地域社会といったコミュニティも含む)を失った人にとっての復興とは何なのでしょう。

前述しましたように、故郷を失った住民を含む被災者が提訴した裁判について、一審、二審で負けても控訴をし、最終審まで徹底的に争う日本国政府と東電の姿勢からみても、誠意を持ったの謝罪はありません。それまでの生活を破壊された憎しみも悲しみも晴らせない被災者にとって、それは苦し

く惨めでもあり、干支が一巡しようがその状態は変わっていません。

何故に日本国政府は、核災害の被害にあった住民に対して冷酷なのか？歴史的に東北は、中央のために人、食料、エネルギーとあらゆるリソースの供給地で、国内における植民地と言っていい立場だったと言われます。また、旧大日本帝国の頃から政府は常に棄民と言える移民、開拓団政策を取っています。旧満州国の満蒙開拓団が典型ですが、国内の食糧需給が賄えないとなると常に人々を故郷の外へと放出してきました。

そして、棄民と記したのは、日本政府が住民に対しての支援を放棄することを厭わないからです。27万人の満蒙開拓団に至っては、旧ソ連の侵攻によって關東軍のみが日本本国に撤収し、住民は見捨てられ自力で逃げることを余儀なくされました。それは、福島第一原発の核災害によって故郷を失った人々の姿と重なって見えます。

強制避難区域は次々と解除され、道路や鉄道を開通させる、新しい役所を建設するなどハード面には無尽蔵に予算がおりて、故郷の風景が変わっていています。そこにはかつての住民の姿はなく、真新しい庁舎だけが建っているという滑稽な姿があります。

国を舵取る老人たちには、先の戦争による廃墟から復興を果たしたという幻想があるからなのかもしれません。このように政府が住民を切り捨ててきた歴史を踏まえれば、第一原発の核災害において、彼らが真の復興と呼べるものを成し遂げることはないのではないかと思います。

それゆえに、私は、第一原発事故による核災害によって故郷を追われた被災者の復興の一助となる活動に邁進する所存です。

● 【東京新聞】匿名出品のフリマでは対策困難？ 約3割の野生キノコから基準値超のセシウム 最大で20倍検出【掲載】 ●

2024年12月22日東京新聞18面に「匿名出品のフリマでは対策困難？ 約3割の野生キノコから基準値超のセシウム 最大で20倍検出(URL: <https://www.tokyo-np.co.jp/article/375155>)」という記事が掲載されキノコプロジェクトが報じられました。

残念ながら東京新聞は全国紙ではなく、ネットで公開されている記事も有料会員限定となっていますが、是非ともご覧いただきたい記事です。NPO法人みんなのデータサイト福島ラボの調査と紹介されていて、みんなのデータサイトに参加する複数の市民放射能測定室による調査とはなっていませんが、文字数の関係で、込み入った説明が必要になる箇所を簡略化した結果なのでしょう。

東京新聞記事や後段の【活動紹介】ではスペースの都合上、測定結果の一部のみを掲載していますので、結果全体をご覧になりたい場合は、みんなのデータサイトのホームページの「旬のもの」(URL: <https://data.minnanods.net/seasonal/>)から、秋の「きのこ」アイコンをクリックしてご覧ください。

例年シーズン終了後には弊法人理事であり、C-ラボ所長の大沼章子が解析報告書を作成しています。2024年版の報告書についても完成しましたら、追ってお知らせしますのでお待ちください。(阿部浩美)

キノコ測定結果一覧



これまでのキノコや山菜等プロジェクトの解析報告書



【活動紹介】

みんなのデータサイトでは様々なプロジェクトが実施されています。プロジェクトリーダーから簡単に活動内容・近況を報告します。

(恒例) 旬のもの (夏～秋：野生キノコ) 測定プロジェクト[11月30日現在](C-ラボ・大沼章子)

今年の野生キノコの測定結果は11月30日時点で加工品を含め、155件がデータベースに登録されており、食品基準の1キログラムあたり100ベクレルを超えるものは29件（以下一覧表）出ています。また、そのうちで1キログラムあたり1,000ベクレルを超えたものは5件もありました。

単位：Bq/kg

品名	産地	セシウム 134	セシウム 137	測定日
コウタケ	福島県二本松市	31.7 (±12.6)	3150 (±570)	2024-10-31
コウタケ[ネット通販]	福島県福島市	24.3 (±0.79)	1830 (±4.85)	2024-09-30
乾燥コウタケ[ネット通販]	不明(商品ページに記載なし)	26※	1493※	2024-11-18
コウタケ[ネット通販]	群馬県	12.1 (±0.75)	1130 (±4.6)	2024-10-20
ウラベニホテイシメジ[ネット通販]	群馬県	10.9 (±2.04)	1060 (±12.4)	2024-10-20
乾燥チチタケ[ネット通販]	千葉県	10.6※	860※	2024-11-14
乾燥コウタケ[ネット通販]	山形県・福島県(南会津)	9.4※	800※	2024-11-12
乾燥コウタケ[ネット通販]	岩手県	8.5※	785※	2024-11-12
乾燥コウタケ[ネット通販]	不明(商品ページに記載なし)	9.3※	625※	2024-10-06
コウタケ(乾燥気味)[ネット通販]	岩手県	不検出 (検出下限値 5.11)	619 (±7.74)	2024-09-21
乾燥コウタケ[ネット通販]	山形県	8.4※	605※	2024-10-01
乾燥コウタケ[ネット通販]	岩手県	不検出 (検出下限値 13.5)	495※	2024-11-22
コウタケ[ネット通販]	福島県(南会津)	不検出 (検出下限値 4.09)	343※	2024-10-20
アカヤマドリタケ	山形県	4.1 (±0.8)	273 (±55)	2024-08-18
チチタケ[ネット通販]	栃木県	3.39 (±0.26)	229 (±1.38)	2024-08-26
コウタケ[ネット通販]	長野県	3.39 (±0.26)	226 (±4.82)	2024-10-14
乾燥コウタケ[ネット通販]	栃木県	1.9※	218※	2024-11-25
ハナイグチ[ネット通販]	群馬県	2.44 (±0.6)	214 (±3.22)	2024-11-10
コウタケ[ネット通販]	山形県	不検出 (検出下限値 3.55)	212 (±4.59)	2024-10-15
コウタケ[ネット通販]	福島県(奥会津)	不検出 (検出下限値 2.57)	192 (±4.25)	2024-10-19
コウタケ[ネット通販]	山梨県	不検出 (検出下限値 1.82)	179 (±1.71)	2024-10-26
乾燥コウタケ[ネット通販]	岩手県	不検出 (検出下限値 9.8)	177※	2024-11-18

品名	産地	セシウム 134	セシウム 137	測定日
コウタケ[ネット通販]	不明(商品ページに記載なし)	1.53 (±0.22)	164 (±1.11)	2024-11-01
コウタケ[ネット通販]	宮城県	不検出 (検出下限値 1.38)	151 (±1.92)	2024-10-10
乾燥カワダケ(コウタケ)[ネット通販]	岩手県	不検出 (検出下限値 19)	129※	2024-11-18
チチタケ	福島県南会津郡南会津町	不検出 (検出下限値 5.94)	126 (±23.1)	2024-08-24
コウタケ[ネット通販]	福島県(南会津)	不検出 (検出下限値 2.61)	118 (±2.28)	2024-10-18
サクラシメジ[ネット通販]	岩手県	不検出 (検出下限値 2.04)	117 (±2.89)	2024-10-01
コウタケ[ネット通販]	不明(商品ページに記載なし)	不検出 (検出下限値 1.01)	104 (±1.53)	2024-10-19

これら 1 キログラムあたり 100 ベクレル超過のキノコは 28 件がメルカリの個人間売買及びネットショップでの購入品、1 件が縁故品の頂き物です。

※乾燥キノコについては、乾燥食品について厚労省が示す重量変化率(4.0)による補正で生値にして判定しています。

メルカリの商品ページに産地の記載が無い(!?)状態で出品されていたコウタケは、出荷制限がかかっている福島県福島市で採取された物でした(産地は保健所の調査で判明)。前ページの表では上から二番目に表示している物です。購入時は産地不明でしたが、産地が判明したので「福島県福島市」と記しています。

その上で、放射能測定結果も 1854 Bq/kg と、2000 Bq/kg にせまる高濃度の数値でありました。次ページに掲載した写真は当該コウタケを撮影した物です。



原子力防災（あがのラボ・村上直行）

◆原子力災害に備えるための実践体験学習講座◆第一期・受講生募集中（申込締切：2025 年 1 月 15 日） 同封したチラシもご覧ください！

『原子力災害』から命と健康を守るためには、これまで自然災害時に経験・蓄積した知識は役に立ちません。なぜならば、『原子力災害』では災害を五感で感じる事ができない放射線とそれによる被ばく被害が生じるからです。

福島原発事故を経験し、多くの教訓を得たにもかかわらず、公助として示されている原子力防災の内容は事故以前と何ら変わらず、住民の被ばく防護を軽視した内容です。

この企画研修では、放射線被ばく防護のために、知っておかなければならない基礎的・実践的知識を学びます。今年から新しく始まる第一期生としてぜひご参加ください！

(1) Zoom による事前基礎学習(2025 年 2 月)

募集人数制限なし・アーカイブ視聴可

全 8 回(各週 2 回×4 週)土曜日 pm 7~9 (2 コマ実施)にオンラインで実施・録画します。

※参加費 2,000 円(全 8 回分。教材費・送料含む)

(2) 宿泊型実地研修(2025 年 3 月 22 日-23 日、1 泊 2 日)

受け入れ人数最大 15 人(事前基礎学習の受講必須)

※参加費 10,000 円(宿泊費、防護資材費、現地移動費が含まれます。)

※現地集合場所(福島県 JR 郡山駅)までの交通費は自己負担願います。

(1) のみ参加、または (1) と (2) 両方の参加、いずれかを選んでお申し込みください。

* 実地研修に参加する方は必ず事前基礎学習の受講が必要です。

◎↓ 詳細・お申込についてはこちらの QR コードで開くページをご覧ください



左の QR コードからお申し込みできます。またはメール minnanods@gmail.com へお名前、住所、電話番号、メールアドレス、申し込む研修の種類(事前基礎研修のみ、事前基礎研修と実地研修両方に申し込むか)を明記の上お申し込みください。(申し込み期限：2025 年 1 月 15 日まで) 参加費の納入方法については折り返し事務局からご連絡いたします。

事前基礎研修と実地研修の全てを修了され、確認検定を通過された方には NPO 法人みんなのデータ サイト 「放射線被ばく防護士」の認定証を発行させていただきます。

市民測定室の作り方プロジェクト (つくば市民放射能測定所・藤田康元)

1 年間実施してきたアンケートの報告を取りまとめているのですが、少し時間がかかってしまい、年内の完成が間に合いませんでした。申し訳ありません。1 月末には完成し、まずは回答にご協力いただいた測定室の皆様にお送りして確認をいただく予定です。その後、ウェブサイト等でも公開できるよう準備を進めていきます。

また、アンケート回答をいただいているものの、まだインタビューにこぎつけることができていない測定室が 20 ほどありますので、こちらもアンケートのまとめが完了し次第、面会のご相談の連絡をスタートする予定です。(下記画像は現在作成中のアンケート報告書の表紙のイメージです)





【告知】ハウスダストプロジェクト試験測定用検体募集！！



暮らしの中の身近な内部被ばく線源：ハウスダストの放射能をウォッチ！

本プロジェクトの開始前に試験測定の検体をひきつづき募集していますので、賛助会員の方、また周りの方にお声掛けいただき、是非ともご協力ください。

掃除機が紙パック式の場合は、紙パックゴミを丸ごと容器に詰めて測定します。そこでお願いします。掃除機から取り外した紙パックの口を空気を抜きながらテープで閉じてビニール袋で密封した後に梱包して送ってください（郵便局のレターパックが便利です）。また、紙パックのないサイクロン式掃除機の場合は、クリアビン内のゴミをビニール袋に2ヶ月から3ヶ月間程度の期間分まとめたものをお送りください。



←左記 QR コード (<https://minnanods.net/project/main.html>) ページ下の方の「ハウスダスト（掃除機ゴミ）プロジェクト」という青いタイトルの下に、呼びかけ文・要領とともに記入・同封いただくための「採取記録表」の書式があります。ダウンロードしご記入の上、下記住所宛てに測定検体と共に送ってください

<< 検体送付先 >>

〒467-0058 愛知県名古屋市瑞穂区関取町 146

未来につなげる・東海ネット 市民放射能測定センター（C-ラボ）

TEL: 052-836-3116

メールアドレス: tnet_sokutei@xg7.so-net.ne.jp

（紙パックとそれを密封したビニール袋の重量を測れない場合は、空の紙パックと使用したビニール袋も一緒に送って下さい）。また、送料についてはご負担いただくようお願いします。

これまでの掃除機ゴミの試験測定（2024 年）では、1 キログラムあたり東京都世田谷区内で 10 ベクレル、名古屋市内では不検出、そして福島県内では数十ベクレル～数百ベクレル検出されました。引き続き検体数を増やしながら、いろいろな測定器での測定を可能にしてプロジェクトを進めていくことができるよう、試験測定を続けていきます。とても軽い掃除機のゴミを正確に測定するためには多くの検体で試験測定をして手法を確立していく必要があります。掃除機ゴミが測定できる量 100g～200g 溜まるまでには1～数ヶ月かかりますが、生活スタイルに合わせた無理のないタイミングでお送りください。折しも、今月に入って、政府は、双葉町、大熊町にまたがる中間貯蔵施設の除染土を 2045 年までに福島県外に出す為の全閣僚会議を設置しています。原則、放射能汚染の拡散は許されないと考えます。居住地にかかわらず、暮らしの中の既存の放射能汚染量を知っておくためにハウスダストの測定にご協力ください。ご賛同いただけましたら、ご協力をお願いいたします。

ご不明な点があればお気軽にお尋ねください。（minnanods@gmail.com まで）

編集後記

AI、電子マネー、ビットコイン、スマホ、パソコン、電気自動車、そしてリニア。世界中が電気なしに成り立たない社会にあることを感じます。あの 1979 年に事故を起こしたスリーマイル島の原発を再稼働してマイクロソフトに電力を供給、Facebook を運営するメタ社も原発事業に参入するそうです。「原発は明るい未来のエネルギー」という看板の文字は福島では外されましたが、皮肉にも世界中で標語になりつつあるようです。恩恵と引き換えに未来にツケを送りつづけるのかと、ため息がでます。

能登半島地震から1年経ついまも、復旧は進みません。この国はどうなっているのか。さらに世界を見回せば、戦争や紛争、差別、偏見、貧困、移民問題、それに伴う右傾化や治安の悪化など、混沌はますます深まっています。様々な問題の根っこは同じで、お金第一主義と人間中心主義から脱して、自然と生命第一主義に立ち返ることが必要なのかもしれない。できることをコツコツやるのみですね。本年もデータサイトを支えていただき本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いします（中村）

発行：NPO 法人みんなのデータサイト

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字一本松 11-7

TEL 024-573-5671 FAX 024-573-5798

Mail minnanods@gmail.com